

企業等との連携授業

医療専門課程 歯科衛生士科Ⅱ部

| | | | |
|---------------|---|------|-------|
| 授業科目名 | 臨地実習Ⅱ | 授業時数 | 180時間 |
| 実施期間 | 令和4年8月2日～令和4年9月16日（26日間） | | |
| 実習・演習等の目的及び概要 | 主に一般歯科診療所において担当指導者の指導の下で歯科衛生士業務の実践を行い、歯科衛生過程に則って患者個別の状況にあわせた介入を行うための知識、技術を向上させる | | |
| 企業等との連携の基本方針 | 本科では、「多様化する地域住民のニーズ(要望)」に応えられるよう、多(他)職種と連携しながら自らの専門性を発揮できる歯科衛生士を養成することを養成目的としている。そのために、机上で学べない歯科衛生士に必要な知識と技能および態度を身につけさせることを基本方針として実習を行っている。具体的には、患者様への接し方や学んだ知識、手技を実習指導者の指導の下に実施し、歯科衛生士に必要な基礎的な職業教育を実践する場として施設と連携する。 | | |
| 企業等との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士養成所指導要領に基づく歯科診療補助業務および歯科予防処置業務ならびに歯科保健指導業務全般の実践とその実技指導 ・歯科衛生過程に則った症例の検討と介入の実践 | | |
| 学修成果の評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習の成績評価は、実習前および実習後教育、実習施設の評価、実習日誌および実習後レポートを総合し評価する(学則第13条-6) ・実習評価は実習前試験、実習施設の評価、実習後試験のそれぞれで評価し、実習指導の科目がある場合は実習および実習指導の評価と同一とし、別に単位を換算する(学則施行細則第5条1-6) | | |

実習・演習等計画

| 日程 | 実習・演習等の内容 | 実施場所 |
|-------------|--|-------|
| 実習開始2ヶ月前～ | <p><実習前教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床で使用する用語、チェアサイドでの業務記録の方法の確認 ・臨床実習等でのストレスに対する自分の傾向を知り、その対応をコーピングの手法から学ぶ | 学内 |
| 実習開始1週間前 | <p><事前訪問オリエンテーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習施設にて指導者との顔合わせ、施設内見学、実習時の注意事項の伝達を受ける。 ・実習指導者と今期の到達目標についてすりあわせを行う | 各実習施設 |
| 実習期間 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種術式における歯科診療補助の見学と実践を行う ・実習指導者の指導の下に歯科予防処置、歯科保健指導の見学と実践を行う ・歯科衛生過程に則った症例検討と介入を期間中に2症例実施する | 各実習施設 |
| 実習期間中の毎週指定日 | <p><実習後教育></p> <p>当該週の実習日誌およびケース取得表を提出し、クラス担任より添削と指導を受ける。</p> | 学内 |
| 実習終了後1週間以内 | 全実習日程終了後に自己評価を行うことによって実習期間中の成長を振り返り、到達目標との差異を認識して次回実習に繋げる。 | 学内 |
| 連携する企業等 | 医療法人社団明隆会 フルカワ歯科医院 医療法人社団顎歯会 デンタルケア高松歯科 医療法人社団三進会 あおい歯科医院 | 他9施設 |

企業等との連携授業

医療専門課程 歯科衛生士科Ⅱ部

| | | | |
|---------------|---|------|-------|
| 授業科目名 | 臨地実習Ⅲ | 授業時数 | 225時間 |
| 実施期間 | 令和5年1月16日～令和5年3月17日（33日間） | | |
| 実習・演習等の目的及び概要 | 主に一般歯科診療所において担当指導者の指導の下で歯科衛生士業務の実践を行い、歯科衛生過程に則って患者個別の状況にあわせた介入を行うための知識、技術を向上させる | | |
| 企業等との連携の基本方針 | 本科では、「多様化する地域住民のニーズ(要望)」に応えられるよう、多(他)職種と連携しながら自らの専門性を発揮できる歯科衛生士を養成することを養成目的としている。そのために、机上で学べない歯科衛生士に必要な知識と技能および態度を身につけさせることを基本方針として実習を行っている。具体的には、患者様への接し方や学んだ知識、手技を実習指導者の指導の下に実施し、歯科衛生士に必要な基礎的な職業教育を実践する場として施設と連携する。 | | |
| 企業等との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士養成所指導要領に基づく歯科診療補助業務および歯科予防処置業務ならびに歯科保健指導業務全般の実践とその実技指導 ・歯科衛生過程に則った症例の検討と介入の実践 | | |
| 学修成果の評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習の成績評価は、実習前および実習後教育、実習施設の評価、実習日誌および実習後レポートを総合し評価する(学則第13条-6) ・実習評価は実習前試験、実習施設の評価、実習後試験のそれぞれで評価し、実習指導の科目がある場合は実習お呼び実習指導の評価と同一とし、別に単位を換算する(学則施行細則第5条1-6) | | |

実習・演習等計画

| 日程 | 実習・演習等の内容 | 実施場所 |
|-------------|--|-------|
| 実習開始2ヶ月前～ | <p><実習前教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床で使用する用語、チェアサイドでの業務記録の方法の確認 ・臨床実習等でのストレスに対する自分の傾向を知り、その対応をコーピングの手法から学ぶ | 学内 |
| 実習開始1週間前 | <p><事前訪問オリエンテーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習施設にて指導者との顔合わせ、施設内見学、実習時の注意事項の伝達を受ける。 ・実習指導者と今期の到達目標についてすりあわせを行う | 各実習施設 |
| 実習期間 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種術式における歯科診療補助の見学と実践を行う ・実習指導者の指導の下に歯科予防処置、歯科保健指導の見学と実践を行う ・歯科衛生過程に則った症例検討と介入を期間中に2症例実施する | 各実習施設 |
| 実習期間中の毎週指定日 | <p><実習後教育></p> <p>当該週の実習日誌およびケース取得表を提出し、クラス担任より添削と指導を受ける。</p> | 学内 |
| 実習終了後1週間以内 | 全実習日程終了後に自己評価を行うことによって実習期間中の成長を振り返り、到達目標との差異を認識して次回実習に繋げる。 | 学内 |
| 連携する企業等 | 医療法人社団正進会 アーツ歯科&ワハハキッズデンタルランド 医療法人社団尚歯会 ヒラソル歯科 医療法人社団竹印 竹内歯科診療所 他9施設 | |

企業等との連携授業

医療専門課程 歯科衛生士科Ⅱ部

| | | | |
|---------------|---|------|-------|
| 授業科目名 | 臨地実習Ⅳ | 授業時数 | 225時間 |
| 実施期間 | 令和4年8月15日～令和4年10月17日(33日間) | | |
| 実習・演習等の目的及び概要 | 主に歯科大学病院、保育園、各種社会福祉施設等での実習を通じて、地域住民の様々なニーズに多職種との連携をもって対応するための知識、技術を学ぶ | | |
| 企業等との連携の基本方針 | 本科では、「多様化する地域住民のニーズ(要望)」に応えられるよう、多(他)職種と連携しながら自らの専門性を発揮できる歯科衛生士を養成することを養成目的としている。そのために、机上で学べない歯科衛生士に必要な知識と技能および態度を身につけさせることを基本方針として実習を行っている。具体的には、患者様への接し方や学んだ知識、手技を実習指導者の指導の下に実施し、歯科衛生士に必要な基礎的な職業教育を実践する場として施設と連携する。 | | |
| 企業等との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門的かつ先進的な歯科治療方法の見学 ・保育士、介護福祉士等、他職種理解を深めるための業務体験 ・各種施設の利用者および各ライフステージにおける口腔状況に対する理解を深めるための歯科保健指導の実践 | | |
| 学修成果の評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習の成績評価は、実習前および実習後教育、実習施設の評価、実習日誌および実習後レポートを総合し評価する(学則第13条-6) ・実習評価は実習前試験、実習施設の評価、実習後試験のそれぞれで評価し、実習指導の科目がある場合は実習お呼び実習指導の評価と同一とし、別に単位を換算する(学則施行細則第5条1-6) | | |

実習・演習等計画

| 日程 | 実習・演習等の内容 | 実施場所 |
|------------|--|-------|
| 実習開始2ヶ月前～ | <実習前教育> ・歯科大学付属病院実習における各科のマニュアル読み合わせ ・必要な知識の確認、事前課題の取り組み、知識の整理法 ・施設実習における注意事項 | 学内 |
| 実習開始1週間前 | <事前訪問オリエンテーション> ・実習施設にて指導者との顔合わせ、施設内見学、実習時の注意事項の伝達を受ける。 ・実習指導者と今期の到達目標についてすりあわせを行う | 各実習施設 |
| 実習期間 | コロナ感染症拡大により介護施設での実習が中止となったため、代替実習として、学内にて<介護福祉士×歯科衛生士>との関わりについてのプログラムを実施した。 ①多職種連携の導入として各職種の【職業理解】 ②施設内における【多職種連携】 ③利用者様の1日の流れ【対象者理解】 ④歯科衛生士との連携、求めること | 学内 |
| 実習終了後1週間以内 | <実習後教育> ・当該週の実習日誌およびケース取得表を提出し、クラス担任より添削と指導を受ける。 | 学内 |
| 連携する企業等 | 社会福祉法人南生会 特別養護老人ホームみやぎ台南生苑 | |